

子どものオンラインゲーム 高額課金を防ぎましょう

スマートフォンや家庭用ゲーム機で子どもがオンラインゲームを利用し、保護者の許可なく高額な課金をしてしまったというトラブルが急増しています。

事例 1

小学生の子どもに、親のスマートフォンを貸してオンラインゲームをさせていた。アイテムの購入のため、一度だけ課金を許可してクレジットカードで決済した。その後カードの利用明細から、子どもが数十万円課金をしていたことが判明。決済のパスワードは毎回入力しない設定にしていた。

事例 2

小学生の子どもが家庭用ゲーム機で100万円近く課金をしていた。クレジットカードの情報を登録している保護者用のアカウントでゲームを利用し、本人は課金をしていると思っていなかったようだ。

トラブル回避のアドバイス



★決済のパスワードは必ず設定しましょう

■オンラインゲームはアイテムを手に入れるために課金が必要な場合があります。決済のパスワードを設定していない場合、画面をタップするだけで簡単に課金ができます。パスワードは必ず設定してください。

PASSWORD...



★保護者のアカウントで利用させない

■未成年者が保護者の許可なく課金をした場合は、未成年者契約の取消しが可能な場合があります。しかし、保護者のアカウントで課金をしたり、年齢確認画面で成人と偽った場合などは子どもが課金したと判断できなくなるため、取消しが認められないケースがあります。



★ペアレンタルコントロール機能を利用しましょう

■子どものゲームの利用を管理、保護する仕組みとして、事業者ごとに『ペアレンタルコントロール』という機能が備わっています。この機能を利用することで、子どものアカウントの課金や閲覧を制限することができます。

